

起源への問い

2021

2月28日 日



オンライン開催

13:00

参加無料!

起源への問い

宇宙・地球・生命・知性...その起こりはどのようなものだったのでしょうか。私たちは歴史のなかで、たえずこの問いに向き合ってきました。本講演会では宇宙・地球・生命・知性の起源について、現在どこまで解き明かされているかその最先端のサイエンスをわかりやすくお話するとともに、起源を問うとはどういうことなのかという根源的な話題について、サイエンティストの対話を政治学者がモデレートします。

PROGRAM

① 時間: 13:10-13:30

「生命とは何か?どこから来たのか?」

私達はどこから来たのか?という生命の起源に関する問いは古くは紀元前から時代を超えて神話や哲学、芸術によって語られ現在は科学の文脈でその答えに迫ろうとしています。私達は40億年以上前に起きたであろう、地球生命の誕生と進化の歴史を直接再現することはできませんが、現在の生命から見えてくる普遍性からその起源の様相に迫ることが可能となりつつあります。生命の本質とは何かを考えつつ、その起こりがどのようにこの惑星で起きたのかについて皆さんと考えていければと思います。

SPEAKER

藤島 皓介
ELSI(東工大)
准教授



東京工業大学地球生命研究所 ELSI-FirstLogicアストロバイオロジー寄附プログラム 准教授。専門は分子生物学。NASAエイムズ研究所で宇宙生物学を学ぶ。現在は地球の生命システムの起こりを調べるために、分子進化工学を駆使した原始的な機能性分子を合成してその機能を調べている。

鼎談 時間: 14:25-15:10

「起源を問うとはどういうことか」

MODERATOR

中島 岳志
教授
東工大



1975年、大阪生まれ。京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程修了。2005年『中村屋のポーズ』で、大仏次郎論壇賞、アジア太平洋賞大賞を受賞。著書に『秋葉原事件』、『リベラル保守』宣言』、『血盟団事件』、『親鸞と日本主義』などがある。

② 時間: 13:35-13:55

「知性の源泉としての睡眠」

私たちは眠りとともに日々を生きています。かつては単なる不活動状態とみなされ犠牲にされがちだった睡眠ですが、生命・健康・脳機能にとって不可欠と考えられるようになりました。

本講演ではヒト知性の基礎となる記憶や認知活動が睡眠によって維持・向上されている知見を紹介します。また睡眠は脳の発達をも促すと広く受け入れられていますが、必ずしもその根拠は明確ではないようです。私たちのマウスの実験的研究を交えながら解説します。

SPEAKER

宮本 浩行
IRCIN(東大)
特任准教授



東京大学医学部保健学科
東京大学大学院博士(保健学)
理化学研究所脳神経科学総合研究センター研究員
科学技術振興機構さきかけ研究員等を経て
現在東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構 特任准教授

③ 時間: 14:00-14:20

「素粒子の力学の起源と多様性」

電子やクォークなどの素粒子が互いにどのように力を及ぼしあうか。その力学の「起源」を問うことができるのだということを、高分子と幾何学的対象の間の類似を通してお話します。その理解の先に、素粒子の力学にも多様性があり得るのかもしれないということが見えてきます。

SPEAKER

渡利 泰山
Kavli IPMU(東大)
准教授



2003年、東京大学理学系研究科物理学専攻で博士を取得
2003-6年、学術振興会、UC Berkeley, Caltechで博士研究員
2007-8年、東京大学物理教室助教
2009年から東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構准教授

2021年

2月28日(日)
13:00 ~ 15:20

開催形式	オンライン開催
参加費	無料
対象	高校生以上
定員	原則上限無

申込方法	https://tinyurl.com/jpl2021
申込締切	2月28日12:00まで
お問合せ	pr@elsi.jp

